

「第2期京田辺市“生きる”支援計画－京田辺市自殺対策計画－」 (案)の策定に係るパブリックコメント結果

- (1) 案件名 第2期京田辺市“生きる”支援計画－京田辺市自殺対策計画－(案)
- (2) 募集期間 令和5年12月19日(火)から令和6年1月16日(火)まで
- (3) 意見提出者 1名
- (4) 意見の数 3件
- (5) 意見への対応内訳

対応区分	件数
(計画 or 条例)に追加又は修正するもの(追加・修正)	1件
(計画 or 条例)に趣旨を記載済みのもの(趣旨記載)	1件
(計画 or 条例)の(実施 or 施行)段階で参考とするもの(参考)	3件
その他	0件
合計	3件

整理番号	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
1	地域団体や企業・事業所に対するゲートキーパー養成研修会をどのように受けてもらえるか検討が必要ではないか。職域や団体を限定して取り組むことで、より効果的になるのではないか。	参考	本市のゲートキーパー養成研修会の対象や、受講方法について、より多くの方に効果的な研修となるよう検討をまいります。
2	高齢者向けの事業に、うつ病の予防やアルコール問題、睡眠についてのプログラムを組み込むことで、精神保健の気づきにつながるのではないか。	参考	<p>国の自殺者数の約40%は60歳以上の方が占めており、さらに、年齢、職業別に比較すると、70代の無職者の自殺が最も多い状況です。</p> <p>本市では、高齢者の身近な居場所づくり支援事業などにおいて、高齢者に向けた健康づくりに関する啓発を行っております。ご意見については、高齢者自身が自分の変化に気づき、自殺予防につながるようなテーマを講座に取り入れるなど、今後の取組の中で参考にさせていただきます。</p>
3	子ども自身が自身の自己肯定感、セルフケアやセルフコントロールについて考えることや、学校組織として1人1人の教員が子どもの自殺のサインに気づくことなどといった取り組みを、市教育委員会を通じて各学校で実施できないか。	参考	<p>本市では、子どもが先生や友人から認められること、自分らしさを受け入れることといった機会を日々の教育活動などに取り入れ、自己肯定感を育むことができるよう取り組んでいます。</p> <p>また、教職員は、府総合教育センターにおいて、子どもの理解やメンタルケア等に関する研修を受講し、スキルアップに努めております。</p> <p>ご意見については、今後の取組の中で参考にさせていただき、子どものサインを見逃すことがないよう、丁寧な対応をまいります。</p>

問い合わせ先 障がい福祉課

電 話 0774-64-1372

Eメール shogai@city.kyotanabe.lg.jp